



【五】 青木さんは、「運動」をテーマに、次のリーフレットを作りました。

【リーフレット】

みなさん、運動をしていますか？

えひめ小学校 5年 青木 健太

ぼくは、テレビのニュースで、現代の子どもたちの**体力**が昔と比べて低下していることを知りました。体力の低下は、えひめ小学校の5年生でも起こっているのでしょうか。もしそうだとしたら、なぜ低下しているのでしょうか。

◆ 子どもの体力は、ほんとうに低下しているの？

【資料1】昭和55年度と平成27年度の身長と体力テストの結果比較 (えひめ小5年)

| | 男子 | | 女子 | |
|--------------|--------|--------|--------|--------|
| | 昭和55年度 | 平成27年度 | 昭和55年度 | 平成27年度 |
| 身長 (cm) | 141.7 | 145.5 | 144.2 | 147.5 |
| 50m走 (秒) | 8.9 | 9.1 | 9.2 | 9.4 |
| ソフトボール投げ (m) | 34.1 | 30.0 | 19.8 | 17.5 |

①

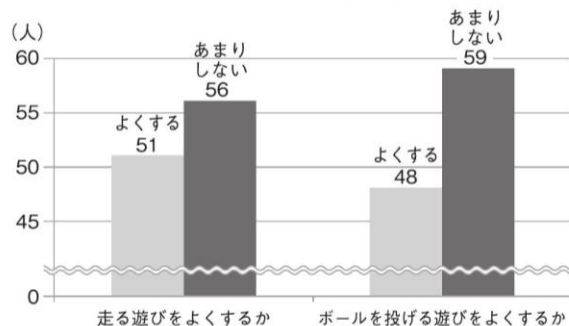
これを見て、今の5年生は、体力をつけるために、もっと運動をしなければならないと思いました。

②

休み時間に走る遊びやボールを投げる遊びをあまりしない子のほうが、よくする子に比べて多いことが分かります。走ったり、ボールを投げたりする運動経験の少なさが、体力の低下に関係しているのではないかと思います。

◆ どうして子どもの体力が低下しているの？

【資料2】えひめ小学校5年生 (107人) の休み時間の運動経験



◎ 遊び方をくふうし、体力をつけましょう！

「おにごっこ」は「走る遊び」の一つです。簡単な遊びのようですが、「ボールおに」や「手つなぎおに」など、いろいろな種類があります。遊び方をくふうし、みんなで楽しみながら、元気でじょうぶな体を作りましょう。

1 【リーフレット】中の□で示した「体力」は、上の漢字が下の漢字を修飾する

関係の熟語です。上下の漢字がこれと同じ関係になっている熟語を、次のアからエ

までの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

ア 遠近 イ 絵画 ウ 着席 エ 校歌

3 青木さんは、【資料2】のグラフの縦軸を波線を入れて中断しています。青木さんの

ねらいについて述べた次の文の()に入る言葉を、あとの条件に合わせて書きま

しょう。
グラフの縦軸を波線を入れて中断することで、() () ことを強調したい。

〈条件〉

○ ふき出し②中の言葉を使って書くこと。

○ 十五字以上、二十字以内にまとめて書くこと。



小5 国語 一―二

平成二十六年
全国学力・学習状況調査 21・2

名前

組 番

2

次の一と二の故事成語の使い方として最もふさわしいものを、1から3までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

一 「五十歩百歩」

- 1 姉と私は、残りのケーキをどちらが食べるのかでもめていた。すると、母が私たちを注意して、もめごに関係のない弟に食べさせた。弟にとっては、五十歩百歩だ。
- 2 私たちの学級では、学年で行われる学級対抗ドッジボール大会での優勝をめざして、ほかの学級よりもずっと前から練習を始めた。だから、優勝できたのは、五十歩百歩だ。
- 3 山口さんと川島さんが、学校で出された宿題を五回忘れたのか、六回忘れたのかで言い争っていた。このようなことと言い争う二人は、五十歩百歩だ。

二 「百聞は一見にしかず」

- 1 友達の野村さんは、先生の説明のはじめの部分を聞くと、結論まで見通すことができるという。百聞は一見にしかずということができる人だ。
- 2 私は、夕日が美しいことで有名な海岸を訪れ、その美しさを自分の目で見て実感することができた。まさに百聞は一見にしかずだ。
- 3 私は、人からいろいろと細かく注意されることがいやだ。しかし、友達に百聞は一見にしかずだと助言されたので、そのことをよく考えてみようと思う。



小5 国語 一―三

平成二十七年
度
全国学力・学習状況調査③

名前

組 番

3

次は、代表委員会に出された【美化委員会からの提案の一部】と、それを聞いている六年生代表の【青木さんの心の中の声】です。A・B・Cは、どのような聞き方をしていますか。それらについて説明しているものを、あとの1から5までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

【美化委員会からの提案の一部】

最近、校内のよこれが気になります。みなさんは、そうじに一生けん命取り組んでいますか。中には、おしゃべりばかりしている人や取りかかりがおそい人もいます。そこで美化委員会から、来月の全校美化週間に
おいて取り組むことを、次のように提案します。
それは、「**さ**・**し**・**す**・**せ**・**そ**」を合い言葉
に取り組むことです。
さ…さっと取りかかり
し…しずかに
す…すみずみまで
せ…せいっぱい
そ…そうじをしよう
これらを合い言葉に、みんなで力を合わせ、
きれいな学校にしていきたい。
（提案が続く）

【青木さんの心の中の声】

A
そうじに対する取り組みの問題点などを
もとに、提案しているんだな。

B
六年生は、「さ」と取り
かかり」と「すみずみまで」
については、あまりできて
いないような気がするわ。

C
低学年にも分かりやすいな。これ
なら、そうじのときに合い言葉とし
て声をかけ合うことになるだろうか
ら、きっと効果上がるわ。



- 1 提案の内容と自分たちの様子とを関係付けながら聞いている。
- 2 自分が予想したとおりかどうかを確かめながら聞いている。
- 3 どのようなことをもとにした提案なのかを考えながら聞いている。
- 4 提案に対して反対の立場に立ち、疑問をもちながら聞いている。
- 5 目標の達成につながる提案であるかを評価しながら聞いている。



小5 国語 二―一

平成二十八年
度
愛媛県学力診断調査
二―1・2

名前

組 番

二 次は、松田さんのスピーチの一部です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【松田さんのスピーチの一部】

きのう、運動公園で小学生向けのサッカー教室がありました。コーチは、ほくがあこがれているプロの選手でした。

まず、パスの出し方や受け方の説明を聞きました。コーチは、ねらった所にパスを出すことや、足もとできちんとボールを止めるコツをていねいに教えてくれました。

1 次の文の「運動公園で」は、どの言葉を修飾しゅうしやくしていますか。次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

ア

きのう、運動公園で、小学生向けの

イ

サッカー教室が

エ

ありました。

2 【松田さんのスピーチの一部】の中の「くれました」を、敬語けいごを使ってひらがな七字で書き直しましょう。



小5 国語 二―三

平成二十六年
全国学力・学習状況調査③

名前

組 番

3

次は、南田さんが想像したことをもとにして書いてある【物語の一部】です。南田さんは、橋本さんから助言をもらっています。あとの【二人の会話の様子】の [] の中に入る内容として最もふさわしいものを、1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【物語の一部】

良太は、小学三年生の男の子。春休みに、大きな町から引っこしてきました。四月、引っこした先の学校に通い始めましたが、はずかしがり屋の良太は同じ学級の人に声をかけることができませんでした。

おだやかな風がふく、ある日のことです。学校から家に帰った良太は、近くの公園に出かけました。その公園は、学級のみんながよく遊んでいる場所です。学級のだれかと会って話をしたくて、そこでじっと待つことにしました。しかし、公園にはだれも来ません。

良太は、さびしい気持ちでいっぱいになりました。

「こんなところなんてきらいだ。友達なんていらぬいや。」

と、小さな声でつぶやきました。

♪ (物語が続く) ♪

【二人の会話の様子】

南田 —— 部では、良太の気持ちを「さびしい」と表現したけど、「さびしい」という

言葉を使わずに、うまく表現できないかな。

橋本 それならば、その気持ちを [] で表したらどうだろう。

南田 それはいいね。(しばらく考える。)

では、「いつの間にか灰色の雲が広がり、公園はだんだんと暗くなってきました。」
としたらどうかな。

橋本 そうだね。そのように書きかえると、「さびしい」という言葉を使わなくても、読み手に良太の気持ちや様子を想像させることができると思うよ。

♪ (会話が続く) ♪

1 良太の顔の表情

2 良太の心の中の声

3 良太の周りの風景

4 良太の行動



小5 国語 三—一

平成二十九年度
愛媛県学力診断調査 三・三

名前

組 番

二 前田さんは、体に関する慣用語かんようぐの正しい使い方についてまとめています。次のアからエまでの中から、慣用語の使い方として正しくないものを一つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 私の妹は、あまいものに目がない。
イ 本を読んで、主人公の悲しみが胸むねにせまる。
ウ 私には、手があくほど欲しいものがある。
エ 毎朝そうじをしている六年生に、頭かぶが下がる。

三 次の文の——線部「発表した」は述語じゆつごに当たります。主語に当たる言葉を——線部アからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 本日 気象台は 四国地方に 大雪注意ほうを 発表した。
イ
ウ
エ



小5 国語 三—二

平成二十九年度
全国学力・学習状況調査①

名前

組 番

1

野村さんの学級では、学級文集のタイトルを決めています。次は、学級文集のタイトルについて、各グループで話し合ったことを報告し合う【報告場面の一部】です。これをよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。

【報告場面の一部】

石川 学級文集のタイトルについて、学級目標と同じように、明るくかがやくイメージの言葉にするとどこまで決まっています。それをふまえて、ここまで話し合ったことを中島さんのグループから順番に報告してください。

中島 私わたしのグループでは、まわりを照らすというイメージから、「太陽」がよいという意見にまとまりました。

西山 ぼくのグループでも、「太陽」がよいということになりました。理由は、太陽は明るく、まわりをあたたくすることもできるからです。

野村 私のグループも、明るくというイメージの「太陽」がよいという意見がありました。しかし、学級の一人一人がかがやくというイメージで「銀河」がよいという意見もありました。どちらもよい意見で、一つにまとまりませんでした。「太陽」だけでなく、「銀河」についても、ぜひみんなに考えてほしいです。

～（報告が続く）～

（問い） 野村さんは、どのようなことを報告していますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 話し合って一つにまとまったことを報告している。
- 2 一番多く出されたことを報告している。
- 3 学級全体で取り上げてほしいことを報告している。
- 4 同じ意見でも理由がちがうことを報告している。



小5 国語 三—三

平成二十九年
全国学力・学習状況調査 4—1—2

名前

組 番

4

中西さんのグループでは、月の様子をよんだ俳句を調べ、その中から選んだ好きな俳句について、学級で紹介しようとしています。次は、選んだ俳句についてまとめた【俳句カード】と好きな俳句を紹介するための【話し合いの様子】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【俳句カード】

ア 雪とけてくりくりしたる月夜かな

小林一茶

〈調べた内容〉

季語：雪とけて 季節：春

この俳句は、「寒い冬が終わり、雪がとけ、春が来た。月もきれいで明るくかがやく夜だなあ。」とよんでいるそうです。

イ ひやひやと月も白しや秋の風

上島鬼貫

〈調べた内容〉

季語：秋の風 季節：秋

この俳句は、「秋のこちよい風がふく中では、月の色もひんやりと白っぽいなあ。」とよんでいるそうです。

【話し合いの様子】

北田 アの句は、「くりくりしたる」の「くりくり」が

おもしろいね。声に出して読んでみるよ。(音読)

中西 リズムよく読めて、読むのが楽しくなるね。

「くりくり」というのは、月の(A)を表しているのかな。春になったのがうれしいのかもしれない。

本間 イの句の「ひやひや」も「くりくり」と似て

いるね。どちらも声に出して読んで紹介すると、俳句のよさがもっと伝わりそうだよ。(音読)

「ひやひやと」を声に出して読むと、ひんやりした感じがますます伝わってくるような気がした。「白」という月の色も、なんだかひんやりとした感じがするね。

青木 そうか。ふいてくる風からも、見ている月からも、ひんやりした秋を感じているんだね。

中西 作者の伝えたかったことって、今、青木さんが言ったことなのかもしれないね。このこともみんなに紹介しよう。

一 中西さんは、【話し合いの様子】の(A)でどのように発言したでしょうか。(A)に入る内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 かすんでいる様子
- 2 まっ白い様子
- 3 まんまるい様子
- 4 欠けていく様子

二 中西さんのグループでは、話し合いを通して、自分たちが見つけた俳句のよさについても紹介しようとしています。紹介しようとしている内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 言葉のひびきや作者の季節を感じる心
- 2 それぞれの作者の生き方や考え方
- 3 月の形が変化する様子や構成のくふう
- 4 季語の使い方や季語から想像したこと



小5 国語 四—一

平成二十六年
度
愛媛県学力診断調査

名前

組 番

二 大野さんは「言う」と別の動詞（動作などを表す言葉）を組み合わせてできる言葉を集めています。次の文の（ ）に入る言葉として最もふさわしいものを、あとのアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましよう。

先生に対する感謝の気持ちは、どれほど言葉をならべたとしても（ ）
ことができなない。

- ア 言い返す イ 言い残す ウ 言いつくす エ 言いふらす

【国語一】

- H 27 愛媛県学力診断調査 **五** 1・3
H 26 全国学力・学習状況調査 **二** 1・2
H 27 全国学力・学習状況調査 **三**

五 1 **エ**

3 1
・ 休み時間に運動をしない子のほうが多い(18字)

〈他の正答例〉

- ・ あまりしない子が、よくする子に比べて多い(20字)
- ・ 休み時間に体を動かさない子が多い(16字)
- ・ 休み時間に遊ばない子のほうが多い(16字)

三 **二**
A ー
3 3
B 1 2
C 5

【国語二】

- H 28 愛媛県学力診断調査 **二** 1・2
H 25 全国学力・学習状況調査 **四** ア・イ・ウ
H 26 全国学力・学習状況調査 **三**

二 **四** 1 **エ**
2 くださいました

四 **二** **イ** (例) 上回っている

(例) 年代が上がるにつれて、「見れた」を使うわり合よりも「見られた」を使うわり合が大きくなることが分かる。

三 3

【国語三】

- H 29 愛媛県学力診断調査 **二**・**三**
H 29 全国学力・学習状況調査 **一**・**四** 1・2

二 **三** **一** 3 **四** ー 3 **二** 1
ウ **イ**

【国語四】

- H 26 愛媛県学力診断調査 **二**
H 25 全国学力・学習状況調査 **三** 1・2

三 **二**
ー **ウ**

放送委員会 ・ ぼくは、委 ・ 新しく委員

(1) そうにしていた ・ ぼくは、これま

(2) 4

【国語一】 H 27 愛媛県学力診断調査 **五** 1

- 五** 1 **エ**
- ※ 熟語の構成の学習は、一つ一つの漢字の読み・意味を確認する学習にもつながる。児童が、主体的に漢字学習に取り組むことができるよう、教科書の文章中から自分が見つけた熟語について、漢字の読み・意味及び熟語の構成を考えさせる。

【国語二】 H 25 全国学力・学習状況調査 **4** ア・イ・ウ

- 4** ア (例) 上回っている イ (例) 上回っている
ウ (例) 年代が上がるにつれて、「見れた」を使うわり合よりも「見られた」を使うわり合が大きくなるのが分かる。
- ※ 表やグラフ等から分かることをまとめる際には、理科や社会科における学習とも関連させながら、表やグラフ中のどの部分を見るとよいのか、どのように分析的な見方をすればよいのかということを一寧に指導する。また、「上回る」、「下回る」、「増加」、「減少」など、使用する語句についても習熟度に合わせて意識させる。

【国語三】 H 29 愛媛県学力診断調査 **二**

- 二** ウ
- ※ 慣用句やことわざ、故事成語などは、実生活の中で適切に活用する力に付くよう、辞書等を用いて意味・用法について調べさせるとともに、オリジナル辞典にまとめさせたり、気に入っただけのものを取り上げて話を創作させたりするなど、児童が興味をもって学習に取り組むようにする。

【国語四】 H 25 全国学力・学習状況調査 **3** 二

- 3** 二 (1) そうにしていた ・ ぼくは、これま
(2) 4
- ※ 「つなぎ言葉」の使い分けについては、その役割を確認させるとともに、様々な「書く」場面で、適切に活用できているかどうかを意識させる。



かならずま
ヒントをよもう。

第 学年 組 番 名前

一 次の 1 から 5 までの文の — 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 有名な文学者の旧居。
- 2 国家間で条約を結ぶ。
- 3 友達と遊ぶ基地を作る。
- 4 正義を守る大切さを知る。
- 5 会社を立ち上げる資金を集める。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

二 次の 1 から 5 までの文の — 部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 こうかな物を買う。
- 2 演技を見てさいてんする。
- 3 よけいなことは言わない。
- 4 実現かのような計画を立てる。
- 5 自分のにんむを果たす。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

<ヒント>

- 一 1 「旧」と同じ読みをする字は「給」、「級」だよ。「居」は「住居」と同じ読みだよ。
- 2 法律では、「第〇条」と言うよね。「約」は「約束」と同じ読みだよ。
- 3 「ひみつ基地」があると楽しいかもね。「基」は「基本」と同じ読みだよ。
- 4 「正義の味方」や「正義のヒーロー」という言葉を聞くよね。
- 5 「資」は「資料」や「資格」と同じ読みだよ。
- 二 1 「こうか」とは「値段や価値が高い」ことを言うよ。
- 2 「さい」の字の訓読みは「と(る)」だよ。「昆虫さいしゅう」の「さい」だよ。
- 3 「よけいなこと」とは「よらんなこと」とも言えるね。
- 4 「きよか」の「か」、「のうりまく」の「のう」と同じ漢字だよ。
- 5 「にん」は「まか(す)」、「む」は「つと(める)」という漢字だよ。



かなをいときま
へんごをまもろう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 本を出版する。
- 2 塩分の取りすぎに注意する。
- 3 官製はがきで応ぼする。
- 4 問題を簡単に解く。
- 5 教訓を生かす。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 生物のしきそを調べる。
- 2 大きなビルをたてる。
- 3 苦手な教科をこくふくするようつとめる。
- 4 ねん入りに調べる。
- 5 気持ちをあらためる。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

<ヒント>

- 一 1 「版画」の「版」だけど、少し音が変わるよ。
- 2 「塩」は「しお」と読むけど、ここでは音読みだね。「食塩」と同じ読みだよ。
- 3 「官」は「管」と、「製」は「制」と同じ読みだよ。
- 4 「雪が解ける」場合も「解」を使うよ。
- 5 「教」は「教室」と、「訓」は「訓練」と同じ読みだよ。
- 二 1 「いろのもと」になるものだよ。「そ」は「そぎい」、「そしつ」と同じ漢字だよ。
- 2 「けんこう」の「けん」と似ている字だよ。
- 3 「どりよくする」ということだよ。
- 4 「ねんがん」、「きねん」の「ねん」と同じ漢字だよ。
- 5 「かいらょう」の「かい」という漢字で、部首は「女(ぼくにょう)」だよ。



なまはしとまは
にんごをまらさう。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 検査技師を目指す。
- 2 個性を大切にする。
- 3 人工の島を作る。
- 4 文書を複写する。
- 5 理容店に行く。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 にぎりめしをほおぼる。
- 2 会場がまんせきになる。
- 3 自転車のせいびをする。
- 4 量よりもしつが大切だ。
- 5 おんたい地域ちいきに育つ植物。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

〈ヒント〉

- 一 1 「技師」は、「専門的な技術をもった人」のことだよ。「師」は「教師」と同じ読みだね。
- 2 「個人がもつ性格」のことだね。
- 3 字がちがうけど、「人口」と同じ読みだよ。
- 4 「複」は「複数」、「写」は「写真」と同じ読みだよ。
- 5 「容」は「内容」と同じ読みだよ。
- 二 1 「ごはん」の「はん」は「めし」とも読むよ。
- 2 「まんいん」で「せき」がいっぱいになった状態だよ。
- 3 「せい」は「ととの(える)」、「び」は「そな(える)」という漢字を書くよ。
- 4 「しつもん」の「しつ」と同じ漢字だよ。
- 5 「おんど」の「おん」と同じ漢字だよ。「たい」は「おび」という漢字を書くよ。

かなをいときま
へんごをまもら。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 考えたことを黒板に書く。
- 2 挙手によって採決する。
- 3 氏名を書く。
- 4 学級の旗をデザインする。
- 5 和紙で作ったはがき。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

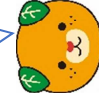
二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 象ははなが長い。
- 2 ぐんてをして作業をする。
- 3 社会科でせいふの仕事を学ぶ。
- 4 学校をどうこうする。
- 5 休日にとぞんを楽しむ。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

〈ヒント〉

- 一 1 「黒」も「板」も音読みしよう。ただし、「板」は音がにこるよ。
 2 「採」は「採用」、「決」は「決心」と同じ読みだよ。「決をとる」とも言うね。
 3 「名前」のことを「氏名」とも言うね。「名」は「名人」と同じ読みだよ。
 4 沿道で旗をふって、マラソン選手を応援するよね。
 5 「和」は「平和」と「紙」は「新聞紙」と同じ読みだよ。
- 二 1 「自」、「田」、「井」を組み合わせるよ。
 2 「ぐん」は「運」という漢字の一部だよ。
 3 「せいじ」の「せい」、「京都ふ」、「大阪ふ」の「ふ」と同じ漢字だよ。
 4 「どういつ」の「どう」と同じ漢字だよ。「こう」は「あ(わせる)」という漢字だよ。
 5 「やまにのぼること」だよ。



分らないときは
先生に尋ねよう。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 故事成語の意味を知る。
- 2 動物愛護のポスターをはる。
- 3 各国の代表が会談をする。
- 4 老後の生活を楽しむ。
- 5 墓地に向かう道。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 海からりくに上がった動物。
- 2 暖かいいふくを用意する。
- 3 品質をほしようする。
- 4 学校いがいでも運動をする。
- 5 自分のせいかくをよく知る。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

〈ヒント〉

- 一 1 「故事」とは「昔から伝えられている事柄や物語」だよ。
- 2 動物を「愛してまもること」だよ。
- 3 「会談」とは「会って話し合うこと」で、「談」は「相談」と同じ読みだよ。
- 4 「老」は「老人」と同じ読みだよ。
- 5 「墓」は音読みしよう。
- 二 1 部首は「ことくん」だよ。
- 2 「い」も「ふく」も「着る物」のことだよ。
- 3 「ほ」は「たも(つ)」という漢字だよ。「しよう」は「しようめい」と同じ漢字だよ。
- 4 「い」は「い来」「い前」と同じ漢字だよ。
- 5 「せい」の「せい」「ごうかく」の「かく」と同じ漢字だよ。



おなほいしまは
くんと じやまろ。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 真相が判明する。
- 2 苦肉の策を出す。
- 3 体重を量る。
- 4 無味無しゅうの飲み物。
- 5 水車の齒車を直す。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

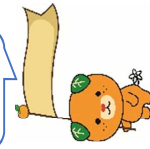
二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 技術者をようせいする学校。
- 2 りょうじつの食材。
- 3 じゅうみん同士で相談する。
- 4 みなとに大きな船が来る。
- 5 まどをねらって射る。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

<ヒント>

- 一 1 「判明」は「はつきりと明らかになること」だよ。「判」は「判断」と同じ読みだよ。
- 2 「苦」は「苦労」と同じ読みだよ。
- 3 「量る」は「測る」、「計る」と同じ読みだよ。
- 4 「無味」は「味が無い」ということだね。「味」は「味覚」と同じ読みだよ。
- 5 「齒」も「車」もそのまま訓読みしよう。ただ「車」は音がにぐるよ。
- 二 1 「よう」は「ようぶん」、「せい」は「せいちよう」と同じ漢字だよ。
- 2 「りょう」は「かいりょう」、「じつ」は「ひんじつ」と同じ漢字だよ。
- 3 「じゅう」は「すむ」、「みん」は「しみん」と同じ漢字だよ。
- 4 「みなと」の部首は「さんずい」だよ。飛行機が発着する「くうこう」と同じ漢字だよ。
- 5 「目指すまど」を「もくてき」と言うよね。



分かることは
ヒントを見よう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 ケーキを均等に分ける。
- 2 経験の浅い人を起用する。
- 3 共同作業を行う。
- 4 自分の意見を主張する。
- 5 絵の構図を考える。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

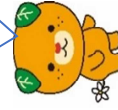
二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 いんしょうに残る話。
- 2 おもちやのべいたい。
- 3 役目をはたす。
- 4 たいようの光。
- 5 きゅうこう列車に乗る。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

<ヒント>

- 一 1 「均」は「平均」と、「等」は「一等賞」と同じ読みだよ。
- 2 「起用」は「今までより重要な役目に人を取り立ててもらっていること」だよ。
- 3 一人以上の人が、共に同じことをするから「共同」と書くんだね。
- 4 「主」は「主人公」と、「張」は「出張」と同じ読みだよ。
- 5 「構図」は「構成」という言葉と似ているよ。
- 二 1 「矢じるし」の「しるし」と、「気しょう」の「しょう」の組み合わせだよ。
- 2 「たい」は「ト (とぎとくん)」だよ。
- 3 「役目をはたす」と「けつか」や「せいか」が得られるよね。
- 4 「よう」は「ようきな性格」と同じ漢字だよ。
- 5 「きゅうこう」とは、「いそいでいくこと」だよ。



かなひときま
てんをまもる。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 おしくも落選する。
- 2 先生と面談する。
- 3 県内の市部と郡部の特ちょうを調べる。
- 4 間接的に注意する。
- 5 たくさんの雑草が生える。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 各地のめいさん品を集める。
- 2 こうていに桜の木がある。
- 3 てんすうの「てん」、「けんさ」の「けん」と同じ漢字だよ。
- 4 鳥を大空にははなつ。
- 5 ひみつをまもる。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

<ヒント>

- 一 1 「落選」の反対は「当選」だね。
- 2 「面」は「面会」と、「談」は「会談」と同じ読みだよ。
- 3 「郡」は「群」と「君」が共通していて、同じ音読みをするよ。
- 4 「間接」の反対は「直接」だよ。「他のものを間に置くこと」を言うよ。
- 5 自然に生えるいろいろな草のことで、生命力が強いことをたとえる場合にも使うね。
- 二 1 それぞれの地域でなまえが知られているとくさん物のことだよ。
- 2 「こうてい」は「がっこうのにわ」ということだね。
- 3 「てんすう」の「てん」、「けんさ」の「けん」と同じ漢字だよ。
- 4 「矢をはなつ」や「ホームランをはなつ」と同じ漢字だよ。
- 5 総画数は六画だよ。「しゅ備」という言葉もあるね。



かなをよま
むねをよま。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 熱湯を注ぐ。
- 2 ちがう側面から見る。
- 3 一年間の増減をグラフにする。
- 4 外国の生活様式を調べる。
- 5 飲み物を常備しておく。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 法をさだめる。
- 2 有名ながかの絵を見る。
- 3 ふあんに思うことを取りのぞく。
- 4 スカイツリーのてんとう式。
- 5 作文ぶもんで入賞する。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

<ヒント>

- 一 1 「湯」の読みは「ゆ」ではないよ。
- 2 「側面」は「右側」、「反対側」の「側」を音読みしよう。
- 3 「増」は「増加」、「減」は「減少」と同じ読みだよ。二つは反対の意味に当たるよ。
- 4 「様」は「さま」と読まず、音読みしよう。
- 5 「常に備えておく」ということだよ。
- 二 1 「さだめる」は「けつていする」とも言いかわられるね。
- 2 「がか」は「絵をかく人」だよ。「文を書く人」は「作か」と言うね。
- 3 「ふあん」は「あんしんできない」ということだよ。「ふ」は打ち消す意味をもつよ。
- 4 「てん火」の「てん」、「電とう」や「街とう」の「とう」と同じ漢字だよ。
- 5 「ぶもん」は「全体をいくつかに分けた、それぞれのぶぶん」のことだよ。



かななときま
にんごをもちま。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 使用を禁止する。
- 2 学問を修める。
- 3 スポーツの基本を身につける。
- 4 「決して他言しないように。」と念を押される。
- 5 有料道路を走行する。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 豊かなかんせいの持ち主。
- 2 一日かぎりの約束。
- 3 乗り物のしゃりんを点検する。
- 4 ドラマのだいほんを読む。
- 5 弟はてれ性だ。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

<ヒント>

- 一 1 「通行禁止」という表示を見ることがあるよね。
- 2 「収める」、「納める」、「治める」も同じ読みだよ。
- 3 「基礎・基本」と言うよね。
- 4 「言」の読みは「げん」ではないよ。「無言」の「言」と同じ読みだよ。
- 5 「有料」の反対は「無料」だよ。
- 二 1 「かんせい」は、「かん受せい」とも言うよ。
- 2 「一日かぎり」は「一日げんてい」という言い方もするよね。
- 3 「しゃ」は「くるま」、「りん」は「わ」という漢字だよ。
- 4 「だい」は「どだい」と同じ字だよ。
- 5 「て(れる)」は、「れつか(れんが)」と「しょうわ」の「しょう」の組み合わせだよ。

漢字ふりかえりシート 51 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 きゅうぎよ 2 じょうやく 3 きち 4 せいぎ 5 しぎん
二 1 高価 2 採点 3 余計 4 可能 5 任務

漢字ふりかえりシート 52 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 しゅぱん 2 えんぶん 3 かんせい 4 と 5 きょうくん
二 1 色素 2 建 3 努 4 念 5 改

漢字ふりかえりシート 53 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 ぎし 2 こせい 3 じんこう 4 ふくしゃ 5 りよう
二 1 飯 2 満席 3 整備 4 質 5 温帯

漢字ふりかえりシート 54 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 こくばん 2 さいけつ 3 しめい 4 はた 5 わし
二 1 鼻 2 軍手 3 政府 4 統合 5 登山

漢字ふりかえりシート 55 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 こじ 2 あいし 3 かいだん 4 ろうご 5 ぼち
二 1 陸 2 衣服 3 保証 4 以外 5 性格

漢字ふりかえりシート 56 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 はんめい 2 くにく 3 はか 4 むみ 5 はぐるま
二 1 養成 2 良質 3 住民 4 港 5 的

漢字ふりかえりシート 57 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 きんとう 2 きよう 3 きようどう 4 しゅちよう
5 こうず
二 1 印象 2 兵隊 3 果 4 太陽 5 急行

漢字ふりかえりシート 58 (漢字・小五) 正答例

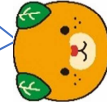
- 一 1 らくせん 2 めんだん 3 ぐん 4 かんせつ 5 ぎんぞう
二 1 名産 2 校庭 3 点検 4 放 5 守

漢字ふりかえりシート 59 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 ねとう 2 そくめん 3 ぞうげん 4 ようしき 5 じょうび
二 1 定 2 画家 3 不安 4 点灯 5 部門

漢字ふりかえりシート 60 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 きんし 2 おさ 3 きほん 4 だこん 5 ゆうりよう
二 1 感性 2 限 3 車輪 4 台本 5 照



かなをよまひ
へんをよまひ。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文の —— 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 日本の食物を輸出する。
- 2 姉は現在、大学生だ。
- 3 書道の才能がある。
- 4 ねこの額ほどの庭。
- 5 兄は運動部に所属している。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

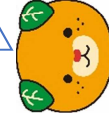
二 次の 1 から 5 までの文の —— 部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 しりようを集めて調べる。
- 2 手芸のぎじゆつを高める。
- 3 きわどい勝負をはんていする。
- 4 わたあめを食べる。
- 5 えいきゆうに人々の心に残る。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

<ヒント>

- 一 1 「輸出」の反対の言葉は「輸入」だよ。「輸」と似ているけどちがう字だよ。
- 2 「今」という意味だよ。「現」は「現実」と、「在」は「存在」と同じ読みだよ。
- 3 「能」は「能力」と同じ読みだよ。
- 4 「おでこ」のことで、「ひり」と読むよ。「ね」の額」は「うでめせまい」とをだしてているよ。
- 5 団体やグループのメンバーに入っていることを「しよ〇〇」と言うよ。
- 二 1 「しげん」の「し」、「りようり」の「りよう」と同じ漢字だよ。
- 2 「ぎ」の部首は「てくん」、「じゆつ」の部首は「ぎようがまえ・ゆきがまえ(行)」だよ。
- 3 「はんたん」の「はん」、「よてい」の「てい」と同じ漢字だよ。
- 4 「めん花」や「めん」のシヤツ」の「めん」と同じ漢字だよ。
- 5 「えい遠」の「えい」と同じ漢字だよ。「きゆう」は「ひそ(しん)」とも読むよ。



かなをよまひ
へんをよまひ

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 多くの利益を期待する。
- 2 夏休みに統計グラフを作る。
- 3 絵をかざる場所を指示する。
- 4 防犯ベルを持つ。
- 5 居間のそうじをする。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

二 次の 1 から 5 までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 二人の字がにている。
- 2 ひじょう口を確かめる。
- 3 下り列車がこんどつする。
- 4 友達のさそいをことわる。
- 5 じょうほうを活用する力。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

<ヒント>

- 一 1 「り〇き」と読むよ。「あうけ」のことだよ。
- 2 「統」は「統一」と同じ読みだよ。
- 3 「指」は「指き者」と、「示」は「表示」と同じ読みだよ。
- 4 「防」は「防火」と、「犯」は「犯罪」と同じ読みだよ。
- 5 「居間」は「ふだん居る部屋のこと」だよ。
- 二 1 「いぜん」、「いじょう」の「い」に「にんぐん」を書くよ。
- 2 「ひ」は「かな(しい)」の上の部分、「じょう」は「つね(じ)」と同じ漢字だよ。
- 3 「こん合物」の「こん」、「ぞつ学」の「ぞつ」と同じ漢字だよ。
- 4 「はんだん」や「おうだん鉄道」の「だん」と同じ漢字だよ。
- 5 「感じょう」の「じょう」、「ほう道」の「ほう」と同じ漢字だよ。



かなをよむまじ
へんごをよむまじ

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文の — 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 快適な温度で過す。
- 2 手紙の最初に前略と書く。
- 3 物を買って税金をはらう。
- 4 高い山は酸素がうすい。
- 5 眼前に広がるすばらしい風景。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

二 次の 1 から 5 までの文の — 部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 花びんの水がへる。
- 2 細かくけんさする。
- 3 国の選挙せいどを学ぶ。
- 4 犬をかい始める。
- 5 あつがみに字を書く。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

〈ヒント〉

- 一 1 「快」は「快晴」と、「適」は「適切」と同じ読みだよ。
- 2 「前略」は「前文を略す」という意味だよ。
- 3 「消費税」は「税金」の一つだよ。
- 4 「酸」は「炭酸」と同じ読みだよ。
- 5 「眼」は「眼科」と同じ読みだよ。「前」は音読みをするよ。
- 二 1 「人口げん少」の「げん」と同じ漢字だよ。
- 2 「けん」の部首は「きくん」だよ。「険」と似ているよ。
- 3 「せい限」の「せい」、「温ど」の「ど」と同じ漢字だよ。
- 4 「しよくくん」と「し会者」の「し」の組み合わせだよ。
- 5 「暑(い)」や「熱(い)」という漢字を書いてはいけないよ。

たくさんの言葉を
使えるようになり
たいね！



かなをよまじま
へんをよまじま。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文の — 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 何よりも大切な財産。
- 2 組織の一員になる。
- 3 自分の罪をつぐなう。
- 4 国境の近くまで行く。
- 5 社会科で武士について学ぶ。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

二 次の 1 から 5 までの文の — 部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 物質がえきたいになる。
- 2 遠足のじゅんぴをする。
- 3 ぞうせんで有名な町。
- 4 身体そくていをする。
- 5 大会に出てしょうひんをもらう。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

〈ヒント〉

- 一 1 「財」は「財産」と同じ読みだよ。
- 2 「組」は同じつくりをもつ「祖」と同じ読みだよ。
- 3 「〇み」と読むよ。「罰」と書くと「ばつ」と読むよ。
- 4 国と国の境目のことを「国境」と言うよ。「境」は「境界」と同じ読みだよ。
- 5 ちむらいのことで、「武」は「武道」や「武器」と同じ読みだよ。
- 二 1 「えき」は「えきずい」に「よる」と書くよ。
- 2 「じゅん決勝」の「じゅん」、「設備」の「び」と同じ漢字だよ。
- 3 「ぞうせん」とは「ふねをつく(る)こと」で、漢字の順番は逆になるよ。
- 4 「計そく」の「そく」、「予てい」の「てい」と同じ漢字だよ。
- 5 「しょう」は「しょうじょう」と同じ漢字だよ。

正しくおぼえら
れるよう、ていねい
に書こうね。



かなをよま
へようよ。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 銅賞に選ばれる。
- 2 日程を調整する。
- 3 月一回刊行される。
- 4 一年近く留学した。
- 5 久しぶりの再会を果たす。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

二 次の 1 から 5 までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 数おく年前の地球。
- 2 学校のしゅういに木を植える。
- 3 気に入ったぬのを買う。
- 4 ぜつたいに成功する。
- 5 商品のきんがくを見る。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

<ヒント>

- 一 1 オリンピックのメダルは「金・銀・銅」だね。
- 2 「程」は「程度」と同じ読みだよ。
- 3 新聞や本を世に出すことで、「週刊」「月刊」などがあるよ。
- 4 「留」は「る」と読んではいけないよ。
- 5 ふたたび会うことで、「〇い〇い」と読むよ。
- 二 1 部首は「にんべん」だよ。
- 2 「しゅう」は「おわり」、「い」は「から(む)」という字だよ。
- 3 「ぬの」は「毛ふ」の「ふ」と同じ漢字だよ。
- 4 「たい」は「体」と書いてはいけないよ。
- 5 「がく」は「おおかい」と「おきやくせん」の「きやく」を組み合わせるよ。



かなをよまひ
へんごをよまひ

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文の — 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 講演会(こうえんかい)でいい話を聞く。
- 2 道徳(どうとく)の時間にじつくりと考える。
- 3 自分の祖先(せんぜん)のことを調べる。
- 4 領地(りやうち)を広げる。
- 5 険(けん)しい山道を歩く。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

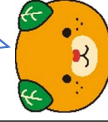
二 次の 1 から 5 までの文の — 部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 書く(かく)じゅんじよ(じゆんじよ)を考える。
- 2 せいしん(せいしん)的な安定(あんてい)を得る。
- 3 新しい(あたら)ねんり(ねんり)ようを探(たず)ねる。
- 4 お寺(てら)のほんとう(ほんとう)で話を聞く。
- 5 自分の考え(かんが)をのべる。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

<ヒント>

- 一 1 「講」は同じつくりをもつ「構」と同じ読みだよ。「演」は「演ぞう」と同じ読みだよ。
- 2 「徳」は「人徳」、「美德」と同じ読みだよ。
- 3 「子孫」と反対の意味の言葉だよ。「祖」は「祖父」、「祖母」、「祖国」と同じ読みだよ。
- 4 「領」は「大統領」と同じ読みだよ。
- 5 問題が難(むず)しすぎると、険(けん)しい表情になるよね。
- 二 1 「じよ」は「まだれ」に「伊豆の国」の「よ」と書くよ。
- 2 「せい」は「せいめくん」、「しん」は「しめすくん」だよ。
- 3 「ねん」は「も(える)」という字だよ。「りよう」は「ぞいりよう」の「りよう」だよ。
- 4 「ほんや」の「ほん」に「しよくどう」の「どう」だよ。
- 5 「の(べる)」は「じゆつ語」の「じゆつ」の訓読みだよ。



かなをよまひ
へんごをよまひ。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文の — 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 夫と妻。
- 2 古い校舎を建て直す。
- 3 婦人服売り場に行く。
- 4 毎日の習慣となってる。
- 5 入場者の総数を発表する。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

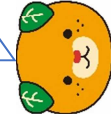
二 次の 1 から 5 までの文の — 部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 つねに自分に正直である。
- 2 自然豊かな町にいじゅうする。
- 3 日本のでんとうを見直す。
- 4 かこと未来。
- 5 車をはしによせる。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

<ヒント>

- 一 1 「夫妻」の女性のほうだよ。
- 2 「舎」は「寄宿舎」や「駅舎」と同じ読みだよ。
- 3 「婦」は「主婦」と同じ読みだよ。
- 4 「習」は「学習」、 「慣」は「慣用句」と同じ読みだよ。
- 5 「総」は「総合」や「総額」と同じ読みだよ。
- 二 1 「つね」は「日じよう」の「じよう」と同じ漢字だよ。
- 2 「いじゅう」は「よその土地へうつりすむこと」だよ。
- 3 「でん」の部首は「にんべん」、 「とう」の部首は「いとくん」だよ。
- 4 「かこ」は「すぎさる」と書くよ。
- 5 「やねの下に大きな可能性がある」というふうに覚えるといいかもしれないよ。



かなをよまひ
へんごをよまひ。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文の — 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 自分で弁当を作る。
- 2 大きな運河を船が進む。
- 3 製品を管理する。
- 4 修正テープで直す。
- 5 重要な仕事を任される。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

二 次の 1 から 5 までの文の — 部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 今年はキウイがほうさくだ。
- 2 中学校のせいふくを着る。
- 3 すばらしいえだぶりの松。
- 4 なだけは人のためならず。
- 5 新学期に身長をはかる。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

〈ヒント〉

- 一 1 「弁」は「関西弁」と同じ読みだよ。
- 2 「運」は「運動」と、「河」は「銀河」と同じ読みだよ。
- 3 「製」は「日本製」と同じ読みだよ。
- 4 「修」は「修理」と同じ読みだよ。
- 5 任されたことは責任をもつてやるよ。
- 二 1 「ほう」は「ゆた(か)」という漢字だよ。反対は「ふさく」だよ。
- 2 「せい度」の「せい」、「洋ふく」の「ふく」と同じ漢字だよ。
- 3 「きくん」に「えだ(える)」と書くよ。
- 4 「りっしんぶん」に「あお」と書くよ。「感じよう」、「じよう熱」と同じ漢字だよ。
- 5 「そく定」の「そく」だよ。同じ読みをするものに「計る」、「量る」があるよ。

漢字はたくさんあつて、おぼえが
いがあるね。



かなをよまひ
へんをよまひ。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文の — 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 不安が半減する。
- 2 ノートの余白にメモをする。
- 3 アジア一帯に分布する植物。
- 4 日に当てた方が断然よく育つ。
- 5 新幹線に乗る。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

二 次の 1 から 5 までの文の — 部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 文化祭にしようたいする。
- 2 絵本をもらつてよろこぶ。
- 3 しえいプールで泳ぐ。
- 4 見事なぎやくてんげきだ。
- 5 円周りつを学ぶ。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

〈ヒント〉

- 一 1 「減」は「減少」と同じ読みだよ。同じ読みで、意味がちがう言葉に「現象」があるよ。
- 2 「余」は「余分」と同じ読みだよ。「あまつたしろい部分」のことだよ。
- 3 「布」は、「ふ」ではなく、「しつ布」と同じ読みだよ。
- 4 「断」は「決断」、「然」は「自然」と同じ読みだよ。
- 5 「北陸新幹線」が走るようになったね。
- 二 1 「しよう」は「まね(く)」、「たい」は「ま(つ)」という漢字だよ。
- 2 総画数は十二画で、「口」が二つあるよ。
- 3 「し」がえい業している」ということだよ。
- 4 「さかさにころがる」と書くんだよ。「てん」は「点」と書いてはいけないよ。
- 5 野球で「打ちつ三割」つてすこいよね。



かなをよま
へんをよま。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 友人からの信らいを得る。
- 2 手際よく作業を進める。
- 3 綿花の輸出量を国ごとに示す。
- 4 政界の勢力図。
- 5 少年よ大志を抱け。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 れきしの勉強は楽しい。
- 2 指で方角をしめす。
- 3 海外にしゅつちようする。
- 4 奈良のだいぶつを見る。
- 5 にくがんで見える星。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

〈ヒント〉

- 一 1 「得る」は「手に入れる」という意味だよ。
- 2 「際」は「さい」とは読まないよ。「窓際」と同じ読みだよ。
- 3 「綿」は「綿織物」、「綿製品」と「花」は「花びん」と同じ読みだよ。
- 4 「勢」は「し勢」と同じ読みだよ。
- 5 「大」は「だい」と読んではいけないよ。「志」は「意志」や「志願」と同じ読みだよ。
- 二 1 「れきし」の「れき」は、漢字辞典では「止」の部に出ているよ。
- 2 「ネ(しめすけん)」は、この字がもとになっているよ。
- 3 「ちよう」は「ゆみへん」に「なが(い)」と書くよ。
- 4 「だいぶつ」は「お・おきいほとけ」だよ。
- 5 望遠鏡などを使わずに見ることだよ。「がん」は「がん科」と同じ漢字だよ。

漢字ふりかえりシート 41 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 ゆしゆつ 2 げんぎい 3 きいのう 4 ひたい 5 しよぞく
二 1 資料 2 技術 3 判定 4 綿 5 永久

漢字ふりかえりシート 42 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 りえき 2 どうけい 3 しじ 4 ぼうはん 5 いま
二 1 似 2 非常 3 混雑 4 断 5 情報

漢字ふりかえりシート 43 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 かいてき 2 ぜんりやく 3 ぜいきん 4 さんそ 5 がんぜん
二 1 減 2 検査 3 制度 4 飼 5 厚紙

漢字ふりかえりシート 44 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 ざいさん 2 そしき 3 つみ 4 こつきよう 5 ぶし
二 1 液体 2 準備 3 造船 4 測定 5 賞品

漢字ふりかえりシート 45 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 どうしょう 2 につてい 3 かんこう 4 りゆうがく
5 さいかい
二 1 億 2 周囲 3 布 4 絶対 5 金額

漢字ふりかえりシート 46 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 こうえん 2 とうとく 3 そせん 4 りょうち 5 けわ
二 1 順序 2 精神 3 燃料 4 本堂 5 述

漢字ふりかえりシート 47 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 つま 2 こうしゃ 3 ふじん 4 しゅうかん 5 そうすう
二 1 常 2 移住 3 伝統 4 過去 5 寄

漢字ふりかえりシート 48 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 べんどう 2 うんが 3 せいひん 4 しゅうせい 5 まか
二 1 豊作 2 制服 3 枝 4 情 5 測

漢字ふりかえりシート 49 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 はんげん 2 よはく 3 ぶんぷ 4 だんぜん 5 しんかんせん
二 1 招待 2 喜 3 市営 4 逆転 5 率

漢字ふりかえりシート 50 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 え 2 てぎわ 3 めんか 4 せいりよく 5 たいし
二 1 歴史 2 示 3 出張 4 大仏 5 肉眼



ひらがなを
かきまわす。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなで
いねいに書きましょう。

- 1 自転車の事故に注意する。
- 2 最強チームを率いる。
- 3 先生の許可をもらう。
- 4 高い評価を受ける。
- 5 仮説を唱える。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

二 次の 1 から 5 までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねい
に書きましょう。

- 1 ボールにあつりよくをかける。
- 2 妹に本をかす。
- 3 海のそばにお城をきずく。
- 4 役をえんじる。
- 5 雲間から太陽があらわれる。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

<ヒント>

- 一 1 「故」の読みを表す部分は「古」だよ。
- 2 「ひ〇(いる)」と読むよ。
- 3 「入室許可」だと「部屋の中に入ることをゆるす」ということだよ。
- 4 よい「評価」だとうれしいね。「評」は「好評」と、「価」は「価値」と同じ読みだよ。
- 5 「仮」の訓読みは「かり」だけど、ここでは一文字消えてしまうよ。
- 二 1 「あつりよく」は、「ちからを加えて、おさえつけること」だよ。
- 2 「借りる」とまちがえないように。
- 3 音読みは「ちく」で、「建ちく」とも使うよ。
- 4 「こうえんかい」や「しゅつえん」の「えん」と同じ漢字だよ。
- 5 「すがたをあらわすこと」だよ。「表」と書いてはいけないよ。



ひらがなを
いねいに書こう。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 係の目標を提案する。
- 2 損失が大きい。
- 3 毛糸でマフラーを編む。
- 4 花畑を版画で表現する。
- 5 政治に関心をもつ。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

二 次の 1 から 5 までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねいに書きましょう。

- 1 デザートが^あまる。
- 2 出発時間を^たしかめる。
- 3 家で漢字の^{ふく}しゅうをする。
- 4 ^{すぎ}去った日々がなつかしい。
- 5 大通りで店を^いとなむ。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

〈ヒント〉

- 一 1 「堤」は「掘ぼう」と同じ読みだよ。
- 2 「損」は、「損して得とれ」ということわざの読み方と同じだよ。
- 3 「編み物」と言うよね。「記事などを集めて本を作る」ことも「編む」と言うよ。
- 4 ちょうこく刀でほった作品だね。「出版」という場合は、読みが少しちがうよ。
- 5 日本の「政治」の責任者は、内閣総理大臣だよ。
- 二 1 音読みは「よぶん」の「よ」だよ。
- 2 「たしか(める)」ことを「かくにん(する)」とも言うよね。
- 3 「ふく」は「かいふく」、「おうふく」と同じ漢字だよ。
- 4 「現在より前」のことを「かこ」と言うよ。
- 5 「二十四時間えいぎょう」の「えい」と同じ漢字だよ。

まだまだ続くよ。がんばれ!



分からないまは
ヒントを覗こう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 格別かくべつにおいしい料理。
- 2 いつも基本きほんを大切にする。
- 3 衛星えいせい放送で観戦する。
- 4 動物を保護ほごする。
- 5 禁句きんくを口にする。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

二 次の1から5までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねいに書きましょう。

- 1 気候きこうにてきた野菜を育てる。
- 2 ゆたかな心をもつ。
- 3 畑はたけをたがやす。
- 4 鳥のたいぐんたいぐんが空をまう。
- 5 危険きけんにそなえる。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

<ヒント>

一 1 「格」は「性格」や「人格」と同じ読みだよ。
 2 「基」は「基地」と同じ読みだよ。何をするにも「基本」が大事だよ。
 3 「人工衛星」「気象衛星」と同じ読みだよ。「衛生」も同じ読みだけど、意味がちがうよ。
 4 世界には、絶滅けつめつしそうな動物がたくさんいて、「保護」されているよね。
 5 「言つてはいけない言葉」のことで、「禁」は「禁止」と同じ読みだよ。
 二 1 「敵」の部首を「しんによろ」に変えると「でき(する)」になるよ。
 2 「たくさんあること」を表す「ほうふ」の「ほう」と同じ漢字だよ。
 3 総画数は十画で、横画が全部で五本使われているよ。
 4 「ぐん」は「〇〇くん」の「くん」と「ひつじ」の組み合わせだよ。
 5 「じゅんび」の「び」と同じ漢字だよ。



分からないときは
〈ヒント〉をみよう。

第 学年 組 番 名前

一 次の 1 から 5 までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなで
いねいに書きましょう。

- 1 身動きできない状態になる。
- 2 多くの人が寄付をする。
- 3 規則性に気づく。
- 4 賞を授ける。
- 5 接続語を使う。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

二 次の 1 から 5 までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねい
に書きましょう。

- 1 無実をしようめいする。
- 2 学校生活になれる。
- 3 友達を家にまねく。
- 4 となりの部屋にイスをうつす。
- 5 薬がきいて痛みがなくなる。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

〈ヒント〉

- 一 1 「状」は「賞状」と、「態」は「態度」と同じ読みだよ。
- 2 お金や物を「寄付」すると喜ばれるよね。
- 3 「規則」は「きまり」のことだね。
- 4 「さ○(ける)」と読むよ。「受(ける)」の反対の行動だよ。
- 5 「接」は「直接」と同じ読みだよ。
- 二 1 「しよう」は、「こんべん」と「ただしい」の組み合わせだよ。
- 2 「生活習かん」の「かん」で、部首は「りっしんべん」だよ。
- 3 「てへん」と「かたな」と「くち」の組み合わせだよ。
- 4 「のぎへん」と「おおい」の組み合わせだよ。
- 5 音読みは「こう」で、「こう果」「こう能」と同じ漢字だよ。



かなひらき
を真まろ。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなで
いねいに書きましょう。

- 1 質素な生活を送る。
- 2 大きな責任を負って働く。
- 3 流れに逆らって進む。
- 4 成績が上がるとうれしい。
- 5 読書に夢中になる。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

二 次の 1 から 5 までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねい
に書きましょう。

- 1 木をもやす。
- 2 体験したことをほうこくする。
- 3 持ち物がしだいにふえる。
- 4 休日げんていのパンを食べる。
- 5 昔の生活をそうぞうする。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

<ヒント>

- 一 1 「質」は「品質」の読みとはちがって、つまる音「つ」に変化するよ。
- 2 同じ音読みで、同じ部分をもつ漢字に、「体積」「成績」があるよ。
- 3 「さ〇(らう)」と読むよ。
- 4 「せ〇〇〇」と読むよ。よく「成績」と書きまちがえるよね。
- 5 「夢」の訓読みは「ゆめ」だけど、これは音読みしよう。
- 二 1 「しぜん」の「ぜん」に「ひくん」が組み合わせると「も(やす)」になるんだね。
- 2 「ほう」は、「つうほう」と、「こく」は「つ(げる)」と同じ漢字だよ。
- 3 数が多くなることだよ。「持ち物がしだいにます」とも言うよ。
- 4 「げん」は「むげん」と同じ漢字だよ。
- 5 「創造」ではなく、「見えないことなどを心の中で思いつかせる」ことだよ。



今日も楽しみ！
（ヒント）を真まろ。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなで
いねいに書きましょう。

1 興^{きょう}味^みをもって話を聞く。

2 たくさんの条^{じょう}件^{けん}を満たす。

3 外国と貿^{まう}易^いをする。

4 明日の航^{かう}路^ろを調べる。

5 快^{かい}く引き受ける。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

二 次の 1 から 5 までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねい
に書きましょう。

1 人^{ひと}とくら^{くら}べる。

2 税^{ぜい}金^{きん}を納^{おさ}める^ぎむ^むがある。

3 書^し道^{どう}のし^しど^どう^うを受^うける。

4 かん^{かん}し^しや^やの気^き持^ぢち^ちを歌^{うた}にこ^こめる。

5 山^{さん}の中^{ちゆう}で道^{みち}にま^まよ^うう。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

〈ヒント〉

- 一 1 「興」を「こう」、「味」を「あじ」と読んではいけません。
- 2 法律^{ほつりつ}で「第^{だい}〇^〇条^{じょう}」とあるよね。「件」は「事件」と同じ読みだよ。
- 3 輸^ゆ出^{しゅつ}したり輸^ゆ入^{にゅう}したりすることだよ。
- 4 「航」は「航海」と同じ読みだよ。
- 5 「こ〇〇よ(く)」と読むよ。「ここちよく」とよくまちがえるので気をつけて。
- 二 1 算^{さん}数^{すう}で習^{まな}った「ひれい」の「ひ」の訓^{くん}読^{よみ}み^みが「くら(ぐる)」だよ。
- 2 「ぎ」は「せいぎ」、「む」は「じむ」と同じ漢字だよ。
- 3 「し」の訓^{くん}読^{よみ}み^みは「ゆび」、「どう」の訓^{くん}読^{よみ}み^みは「みちび(く)」だよ。
- 4 「しや」は「言」、「身」、「寸」という三つの字を組み合わせるよ。
- 5 「しんによう」と「こめ」の組み合わせだよ。



分からないときは
ヒントを見よう。

第 学年 組 番 名前

一 次の 1 から 5 までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなで
いねいに書きましょう。

- 1 意見に賛成する。
- 2 春のおとずれを告げる。
- 3 このマークは、とても複雑だ。
- 4 どっしりとした木の幹にふれる。
- 5 畑に肥料をまく。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

二 次の 1 から 5 までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねい
に書きましょう。

- 1 客の注文におうじる。
- 2 愛媛^{えひめ}県のいきん気温を調べる。
- 3 テントをはる。
- 4 ノートにていねいにきじゅつする。
- 5 風をふせぐための林がある。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

<ヒント>

- 一 1 学級会で司会者が「賛成の人は手を挙げてください。」って聞くよ。
- 2 「新聞こうこう」の「こう」と同じ漢字だよ。
- 3 「復」は「複数」、「雑」は「雑音」と同じ読みだよ。
- 4 「み〇」と読むよ。
- 5 畑だけではなく、植木ばちに入れることもある植物の栄養だよ。
- 二 1 算数の「おうよう問題」の「おう」と同じ漢字だよ。
- 2 「きん」は、「百田きん」と同じ漢字だよ。
- 3 「ゆみへん」と「なが(い)」の組み合わせだよ。
- 4 「き」は「きるく」、「じゅつ」は「主語・じゅつ語」と同じ漢字だよ。
- 5 「こぞとくん」と「ほうがく」の「ほう」の組み合わせだよ。



分からないときは
先生に尋ねよう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 鉢物の成分を調べる。
- 2 海外で学ぶことを志す。
- 3 本に出ていた場所に実際に行く。
- 4 文章の構成を考える。
- 5 プランターを正門に設置する。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

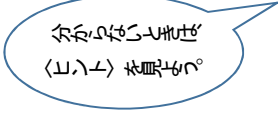
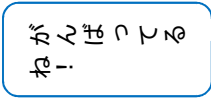
二 次の1から5までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねいに書きましょう。

- 1 国をしはいする。
- 2 紙をやぶる。
- 3 お年玉をちよぎんする。
- 4 家と学校をおうふくする。
- 5 教科書のないようを理解する。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

〈ヒント〉

- 一 1 「鉢」の読みを表す部分は「広」だよ。
- 2 「ころ〇(す)」と読むよ。
- 3 「実」は「実験」と同じ読みだよ。「際」の読みを表す部分は「祭」だよ。
- 4 「こ〇せ〇」と読むよ。
- 5 「設」は「設備」の「設」の読み方が変化して、つまった音になるよ。
- 二 1 「し」の訓読みは「ささ(える)」、「はい」の訓読みは「くば(る)」だよ。
- 2 「いしへん」と「かわ」の組み合わせ。「かわ」は、「けがわ」の「かわ」を書いてね。
- 3 おかねに関する漢字は「かいへん」だよ。
- 4 「おう」も「ふく」も部首は「ぎょうにんべん」だよ。
- 5 「ないよう」の「よう」は、「うかんむり」に「たに」を書くよ。



第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 防災訓練に参加する。
- 2 部屋をいつも清潔に保つ。
- 3 薬の効果が現れる。
- 4 久しぶりに手紙を書く。
- 5 ダムの貯水量が増える。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

二 次の1から5までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねいに書きましょう。

- 1 しよくにんの仕事を見学する。
- 2 庭にさくらの木を植える。
- 3 いきおいよくスタートする。
- 4 ぶんみやくで意味をとらえる。
- 5 弟が泣いてあばれる。

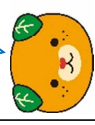
| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

<ヒント>

一 1 「防」は「予防」、「災」は「災害」と同じ読みだよ。
 2 「せ〇け〇」と読むよ。食事の前は手を洗って「清潔」にしてから食べようね。
 3 「効」の読みを表す部分は「交」だよ。「果」は「結果」と同じ読みだよ。
 4 「久しく会わない」と同じ読みだよ。
 5 「貯水」は「水をためる」ことで、「貯」は「貯金」と同じ読みだよ。「水」は「水源」と同じ読みだよ。

二 1 「しよく」は「しよく業」、「しよく員室」と同じ漢字だよ。
 2 「きくん」、「ツ」、「女」の組み合わせだよ。
 3 音読みは「せい」、部首は「力」で、十三画の字だよ。
 4 「さんみやく」の「みやく」と同じ漢字だよ。
 5 音読みは「ほう」で、「ほう力」の「ほう」だよ。

たくさんおぼえた
ねえ。



/ 10

分からないとき
ヒントをみよう。

第 学年 組 番 名前

一 次の 1 から 5 までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなで
いねいに書きましょう。

- 1 原因と結果。
- 2 仮面をかぶっている。
- 3 人前で話す経験^{けん}を積む。
- 4 台風のため停電^{てい}になる。
- 5 外国に行く旅費^{りょ}が必要だ。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

二 次の 1 から 5 までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねい
に書きましょう。

- 1 塩のかたまりをふんまつにする。
- 2 ちしぎを身につける。
- 3 こべつに話を聞く。
- 4 チームがだんけつして勝つ。
- 5 正解へみちびくヒントを出す。

| | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

<ヒント>

- 一 1 「原」は「原野」、「因」は「要因」と同じ読みだよ。
- 2 「か〇〇」をかぶると、素顔^{すがた}が見えなくなるよ。
- 3 「経」は「神経」、「験」は「実験」と同じ読みだよ。
- 4 「停」は「停車」と同じ読みだよ。電気がつかず真っ暗になると困るね。
- 5 「旅」の読みは「旅行」と同じだよ。
- 二 1 「ふん」の訓読みは「こな」、「まつ」の訓読みは「すえ」だよ。
- 2 「ち」、「しぎ」とも「しる」という意味だね。「しぎ」は「意しぎ」と同じ漢字だよ。
- 3 「こ」は「こ人」、「こ教」と、「べつ」は「べつ人」、「区べつ」と同じ漢字だよ。
- 4 「けつ」は「いとくん」だよ。「むす(ぶ)」とも読むよ。
- 5 「道案内をする」という意味があるから「道」が入っているのかな。

漢字ふりかえりシート 31 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 じこ 2 ひき 3 きよか 4 ひょうか 5 かせつ
二 1 圧力 2 貸 3 築 4 演 5 現

漢字ふりかえりシート 32 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 ていあん 2 そんしつ 3 あ 4 はんが 5 せいじ
二 1 余 2 確 3 復習 4 過 5 嘗

漢字ふりかえりシート 33 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 かくづつ 2 きほん 3 えいせい 4 ぼこ 5 きんく
二 1 適 2 豊 3 耕 4 大群 5 備

漢字ふりかえりシート 34 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 じょうたい 2 きふ 3 きそく 4 さま 5 せつぞく
二 1 証明 2 慣 3 招 4 移 5 効

漢字ふりかえりシート 35 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 しそ 2 せきじん 3 さか 4 せいせき 5 おちゆう
二 1 燃 2 報告 3 増 4 限定 5 想像

漢字ふりかえりシート 36 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 きょうみ 2 じょうけん 3 ぼうえき 4 こうろ 5 にころよ
二 1 比 2 義務 3 指導 4 感謝 5 迷

漢字ふりかえりシート 37 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 さんせい 2 つ 3 かくぎつ 4 みき 5 ひりょう
二 1 応 2 平均 3 張 4 記述 5 防

漢字ふりかえりシート 38 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 こうぶつ 2 にころぎ 3 じぎい 4 こうせい 5 せち
二 1 支配 2 破 3 貯金 4 往復 5 内容

漢字ふりかえりシート 39 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 ぼうさい 2 せいけつ 3 こうか 4 ひき 5 ちよすい
二 1 職人 2 桜 3 勢 4 文脈 5 暴

漢字ふりかえりシート 40 (漢字・小五) 正答例

- 一 1 げんいん 2 かめん 3 けいけん 4 ていでん 5 りよひ
二 1 粉末 2 知識 3 個別 4 団結 5 導

慣用句 (2)

1

例にならって、〃の意味をもつ慣用句を探してで囲み、最後に残った文字を組み合わせてできる言葉を答えましょう。

例 相談に乗る。(耳を貸す)

きびしく見張る。

感心する。

力になる。

しりこみする。

ひまになる。

秘密などをしゃべらない。

すぐ近くである。

ちらっと聞く。

わさわさ行く。

働く人が不足している。

はつきり言わず、あいまいにする。

失敗の原因を自ら作ってしまう。

納得できない。

相撲で勝負に負ける。

むだ話をして、時間をつぶす。

とつぜんに。

ほんのわずか。

そっくりである。

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 口 | 手 | を | 貸 | 舌 | 墓 | 穴 | を | 掘 | る |
| が | か | た | す | を | 目 | を | 光 | ら | す |
| 土 | 耳 | い | 足 | ま | 手 | 目 | ふ | に | 落 |
| が | を | 瓜 | を | く | が | と | 油 | や | ち |
| つ | 貸 | 二 | 運 | 小 | あ | 鼻 | を | ぶ | な |
| く | す | つ | ぶ | 雨 | く | の | 売 | か | い |
| 手 | が | 足 | り | な | い | 先 | る | ら | 棒 |
| 言 | 葉 | を | 濁 | す | 二 | の | 足 | を | 踏 |
| 雀 | の | 涙 | 小 | 耳 | に | は | さ | む | む |

残った文字を組み合わせてできる言葉 【 】

2

〃の意味をもつ慣用句を探してで囲み、最後に残った文字を組み合わせてできる言葉を答えましょう。

念を押す。

話を大きくする。

その場をこまかす。

はつきりしない。

冷静になり考える。

うちとけて接することができる。

仲の悪いこと。

相手の優れていることを認める。

苦心して人の世話をする。

とてもしまいこと。

得意になること。

とてもしられること。

身構えて待っている様子。

相手の話につまくだまされること。

不意のできごとにはびっくりする。

何の返事もない。

気が合うこと。

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一 | 目 | 置 | く | お | 茶 | を | に | ご | す |
| 猫 | く | 表 | 雲 | を | つ | か | む | よ | 手 |
| の | ぎ | 気 | が | 置 | け | な | い | う | ぐ |
| 額 | を | さ | す | 犬 | 猿 | の | 仲 | 会 | す |
| 尾 | 胸 | に | 手 | を | 当 | て | る | 口 | ね |
| ひ | 骨 | 鼻 | が | 高 | い | 梨 | の | 車 | を |
| れ | を | あ | ご | 寝 | 耳 | に | つ | に | ひ |
| を | 折 | る | を | 馬 | が | 水 | ぶ | 乗 | く |
| つ | け | る | 出 | す | 合 | つ | て | る | 発 |

残った文字を組み合わせてできる言葉 【 】

慣用句 (2) 解答

1

- 〜 の意味をもつ慣用句は、次のとおりです。
- きびしく見張る。…目を光らす
 - 感心する。…舌をまく
 - 力になる。…手を貸す
 - しりこみする。…二の足を踏む
 - ひまになる。…手があく
 - 秘密などをしゃべらない。…口がかたい
 - すぐ近くである。…目と鼻の先
 - ちらりと聞く。…小耳にはさむ
 - わざわざ行く。…足を運ぶ
 - 働く人が不足している。…手が足りない
 - はつきり言わず、あいまいにする。…言葉を濁す
 - 失敗の原因を自ら作ってしまう。…墓穴を掘る
 - 納得できない。…ふに落ちない
 - 相撲で勝負に負ける。…土がつく
 - むだ話をして、時間をつぶす。…油を売る
 - とつぜんに。…やぶから舞
 - ほんのわずか。…雀の涙
 - そっくりである。…瓜二つ

2

- 〜 の意味をもつ慣用句は、次のとおりです。
- 念を押す。…くきをさす
 - 話を大きくする。…尾ひれをつける
 - その場をこまかす。…お茶をにじす
 - はつきりしない。…雲をつかむよう
 - 冷静になり考える。…胸に手を当てる
 - つちとけて接することができる。…気が置けない
 - 仲の悪いこと。…犬猿の仲
 - 相手の優れていることを認める。…一目置く
 - 苦心して人の世話をする。…骨を折る
 - とてもせまいこと。…猫の額
 - 得意になること。…鼻が高い
 - とても疲れること。…あじを出す
 - 身構えて待っている様子。…手ぐすねをひく
 - 相手の話につまくだまされること。…口車に乗る
 - 不意のできごとにはびっくりする。…寝耳に水
 - 何の返事もない。…梨のつぶて
 - 気が合うこと。…馬が合う

最後に残った文字を組み合わせてできる言葉は、省略してあります。

慣用句 (1)

次の1から10までの にはあてはまる漢字を答え、慣用句を完成せよ。わかりにくい人は【ヒント】にある漢字から選んで答えよ。

- | | | |
|----|----------|-----------------------|
| 1 | が回る | とてもいそがしい。 |
| 2 | を打つ | 対応策をとる。 |
| 3 | が重い | あまりものを言わない。 |
| 4 | の根も乾かぬつち | 言い終わってすぐに、違つ内容のことを言う。 |
| 5 | が棒になる | 歩きつかれる。 |
| 6 | にかける | 自慢する。 |
| 7 | が広い | 知り合いが多い。 |
| 8 | が騒ぐ | 悪いことが起つりそのな気がして心配する。 |
| 9 | を痛める | 難しい問題を解決しようとして苦心する。 |
| 10 | を並べる | 競争相手と同じくらい力をもつ。 |

【ヒント】

足 舌 胸 手 肩 鼻 頭 顔 目 口

慣用句(1) 解答

にあてはまる漢字は次のとおりです。

- | | | |
|----|---|--|
| 1 | 目 <small>め</small> が回る | とてもいそがしい。 |
| 2 | 手 <small>て</small> を打つ | 対応策 <small>たいおうさく</small> をする。 |
| 3 | 口 <small>くち</small> が重い | あまりものを言わない。 |
| 4 | 舌 <small>しほ</small> の根 <small>ね</small> も乾 <small>かわ</small> かぬつち | 言い終わ <small>お</small> ってすぐに、違 <small>ちが</small> つ内容 <small>ねいよう</small> のしつを言 <small>い</small> つ。 |
| 5 | 足 <small>あし</small> が棒 <small>ぼう</small> になる | 歩 <small>あ</small> まつかれる。 |
| 6 | 鼻 <small>はな</small> にかける | 自 <small>じ</small> 慢 <small>まん</small> する。 |
| 7 | 顔 <small>かお</small> が広い | 知り合 <small>あ</small> いが多い。 |
| 8 | 胸 <small>むね</small> が騒 <small>さわ</small> ぐ | 悪 <small>わる</small> いこと <small>こと</small> が起 <small>お</small> こりそつな気 <small>き</small> がして心 <small>しん</small> 配 <small>ぱい</small> する。 |
| 9 | 頭 <small>あたま</small> を痛 <small>いた</small> める | 難 <small>むずか</small> しい問 <small>もん</small> 題 <small>だい</small> を解 <small>かい</small> 決 <small>けつ</small> しよつとして苦 <small>く</small> 心 <small>しん</small> する。 |
| 10 | 肩 <small>かた</small> を並 <small>なら</small> べる | 競 <small>きょう</small> 争 <small>そう</small> 相 <small>あ</small> 手 <small>て</small> と同 <small>どう</small> じく <small>く</small> らいの力 <small>ちから</small> をもつ。 |

【ヒント】

足 舌 胸 手 肩 鼻 頭 顔 目 口

《ことわざカルタ》 その1

例にならって、^{れい}に入るひらがなを答え、ことわざを完成せましよう。また、^{かんばんせい}に入るひらがなは下の文字群の中にかくれています。文字群の中から、答えたひらがなを探して、^{まが}を付け、最後に残った文字を組み合わせてできる言葉を答えましよう。

例 い いそがは (まわれ)

- う からでたまじと ()
- ぬ いのなかの ()
- の もとまればあつたをわすれる ()
- お にみじかしたすきにながし ()
- く はわざわいのもと ()
- や やぶから ()
- ま ががち ()
- け りよつせいはい ()
- ぶ ぶくすい にかえらず ()
- こ につばつも のあやまり ()
- え えびで をつる ()
- て はあついつちにつて ()
- あ あぶ とらず ()
- さ さいげつひとを ()
- き きのつのはきよつのも ()
- ゆ たいてき ()
- め めから がおちる ()
- み みからでた ()
- し しょうじきはいつしょうの ()
- 象 えにかいた ()
- ひ ひに をそそぐ ()
- も のもくあみ ()
- せ せいては をしそんじる ()
- す にそもものしょうづなれ ()
- ん とんでひにいる のむし ()

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| お | び | も | ち | ま | た | ず |
| は | ま | わ | れ | ら | つ | び |
| る | か | そ | ん | か | な | さ |
| け | ん | う | だ | た | ど | ち |
| ま | け | ち | ゆ | き | の | は |
| つ | い | く | ず | て | ら | き |
| て | た | る | わ | う | ぶ | す |
| う | ろ | こ | か | ほ | あ | と |
| ぶ | で | も | と | ほ | ん | こ |

残った文字を組み合わせてできる言葉

【 】

《ことわざカルタ》 解 答

に入るひらがなは次のとおりです。

| | | | |
|---|----------------------|---|--------------------|
| い | いそがば (まわれ) | こ | こつぼつも のあやまり(ふで) |
| ろ | よりしよつこ(ろん) | え | えびで をつる(たい) |
| は | はなより (だんご) | て | はあついつちじつて(てつ) |
| に | にかいから (めくすり) | あ | あぶ とらず(はち) |
| ほ | のかおもさんと(ほどけ) | さ | さいげつひとを (まだず) |
| く | のよこずき(くた) | き | きのこの はきまつのも(てき) |
| と | とつたいもと (くらし) | ゆ | たいてき(ゆだん) |
| ち | もつもればやまとなる(ちり) | め | めから がおちる(ころこ) |
| り | りよつてに (はな) | み | みからでた (さび) |
| ぬ | てであわ(ぬれ) | し | しよつじきはいつしよつの (たから) |
| る | るいは をよぶ(とも) | 象 | えにかいた (もち) |
| を | をだたいてわたる(いしばし) | | |
| わ | わざわいてんじて となす(ぶく) | ひ | ひに をそそぐ(あぶら) |
| か | かほつは まで(ねて) | も | のもくあみ(もと) |
| よ | めにたたりめ(よわり) | せ | せいては をしそんじる(にし) |
| た | からぼたもち(たな) | す | こそものじよつずなれ(すき) |
| れ | はくりかえず(れきし) | ん | とんでひにいる のむし(なつ) |
| そ | そんして とれ(とく) | | |
| つ | とすつばん(つき) | | |
| ね | ねこに (こばん) | | |
| な | なさは のためならず(ひと) | | |
| ら | らいねんのことをいえば がわらつ(おに) | | |
| む | とつたきねづか(むかし) | | |
| う | からでたまじと(うそ) | | |
| ぬ | いのなかの (かわず) | | |
| の | もとすぎればあつさをわすれる(のど) | | |
| お | にみじかしたすきにながし(おび) | | |
| く | はわざわいのもと(くち) | | |
| や | やぶから (ぼつ) | | |
| ま | がかち(まける) | | |
| け | りよつせいばい(けんか) | | |
| ふ | ふくすい にかえらず(ほん) | | |

最後に残った文字を組み合わせてできる言葉は、^{しよつずなれ} 道 啓 しています。